

表-2 代表的な凍結防止剤の比較

	塩化ナトリウム	塩化マグネシウム	塩化カルシウム
特徴	いわゆる「塩」	いわゆる「にがり」の主成分	「除湿剤」として利用
融雪効果	×	×	○
	凍結前に散布	凍結前に散布	降雪、凍結後に散布
効果の持続性	○	○	△
吸湿性	×	○	○
	—	防塵剤として利用可	防塵剤として利用可
溶解時の発熱	なし	少ない	多い
環境影響	大きい	やや少ない	大きい

## ● 人体や環境への影響

- ✓ **塩化カルシウム** は水に溶ける際に発熱するため、濡れた手や足に付着すると炎症を起こす可能性があります。付着量や周辺温度などの条件によっては体温を超えた温度上昇をすることがあるので注意が必要です。
- ✓ **塩化マグネシウム** も水に溶けると発熱しますが、その熱量は比較的 low、安心して使えます。
- ✓ **塩化ナトリウム** は水に溶けても発熱しないため、塩化カルシウムに比べると皮膚炎のリスクは極めて低いといえます。

これらの凍結防止剤はすべて金属を腐食(サビ)させたり、植物の育成を妨げるいわゆる「塩害」のおそれがあります。塩化マグネシウムはほかの二種類に比べると塩害の影響が少ないとされていますが、いずれも散布する際には花壇や畑の近隣を避け、自動車など金属に付着した場合はすぐに真水で洗い流すようにしてください。

## ■ 防塵剤とは

塩化マグネシウムと塩化カルシウムは、吸湿性が高いため、土にまくと適度な水分を保ち、ホコリが舞うのを防ぐ効果があります。そのため防塵剤として運動場やテニスコートなどで散布されることがあります。また土中の成分と反応して固いセメントのような物質を形成するため、テニスコートなどの締め固め用としても使われます。

